



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成19年1月-12月](#) > 環境計測気球（飛行船）のテストフライトについて

入試情報

環境計測気球（飛行船）のテストフライトについて

教育・学生生活

広島大学学長室広報グループ
〒739-8511 広島市鏡山 1-3-2

研究

TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040

社会連携

NEWS RELEASE



E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp
(※@は半角に置き換え送信してください。)

留学・国際交流

平成19年8月16日

学部・大学院等

研究所・施設等

環境計測気球（飛行船）のテストフライトについて

広報・報道

採用情報

広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻の海洋空間工学とシステム安全研究室では、学生たちが、瀬戸内海における藻場の現状を、気球に取り付けたデジタルカメラを使って観測しています。このたび、新たに購入した気球のテストフライトを、下記日時に行いますのでお知らせいたします。

校友会・同窓会

気球の形状はカイツーン型（飛行船型）で、大きさは、長径5m×短径2m程度。搭載するカメラ撮影システムは、システム安全研究室が開発しました。

支援財団・基金

記

図書館・博物館等

大学病院

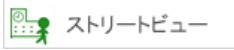
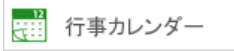
日時：平成19年8月20日（月）13時～

附属学校

場所：広島大学東広島キャンパス 北グラウンド ※雨天・強風の場合は順延

内容：当日は気球を上空約150mにあげ、気球の高度や位置のチェックを行う他、グラウンドに三角錐型コーン等の目印を置き、気球から観測される画像のゆがみ、地上分解能等のチェックを行います。

広大公式アカウント一覧



活動の背景や目的

近年、地球温暖化や都市化などの環境変化により、水生生物のすみかとして貴重な「藻場」や「サンゴ礁」が破壊され、社会問題となっています。全国でも有数の藻場地帯を形成している広島県沿岸でも、藻場の消滅は深刻です。しかし、実際にはその消滅状況はあまりわかっていません。

そこで学生たちは、その現状を面的に把握するために、昨年から担当教員の指導の下、卒業論文や修士論文の一環として、気球に取り付けたデジタルカメラを使って藻場の観測を行っています。

なお、この研究は昨年度採用された環境省「平成18年度環境技術等開発推進費」課題である「低高度リモートセンシングによる藻場・珊瑚礁の簡易底質マッピングシステムの開発」(研究代表、作野裕司)の一環として始められ、学生の研究活動に引き継がれたものです。

この研究に関するこれまでの主な成果は、以下のホームページにまとめています。

<http://nx-ocean.naoe.hiroshima-u.ac.jp/~sakunoyuji/kankvosho/index.htm>

【お問い合わせ先】

広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻
地球環境工学講座(海洋空間工学研究室) 助教 作野裕司
電話:082-424-7773

教育研究活動支援グループ(社会環境システム専攻担当)
電話:082-424-7502